

4月15日：利益確定売りがマーケットの重しとなり、VN指数は反落

ベトナム株は売り買い交錯し、VN指数は反落、一方でHNX指数は続伸した。

ホーチミン市場では、VN指数が0.69%（8.62ポイント）安の1,247.25ポイントだった。同指数は朝方に0.15%小幅高した。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、294銘柄が下落、141銘柄が上昇した。

出来高は高水準を維持し、売買高は約8億650万株、売買代金は20兆6,000億ドンを超えた。

前日1,225～1,232ポイントの下値を試したが、その日の引けに株価は反発した。

「この動きによりVN指数は上昇を続け、1,275～1,300ポイントの上値抵抗線を目指すことが予想される」（バオベト証券の顧客向けデイリーレポート）

「だが、その間はセクターによってそれぞれ違った展開となり、複数の大型株がマーケットをけん引しそうだ」（同証券会社）

昨日に期日を迎えた4月限の先物、その期日はVN30指数採用銘柄の大型株に非常に大きな影響をもたらす可能性がある。

VN30指数は0.51%安の1,284.2ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、24銘柄が下落、5銘柄のみ上昇した。

銀行、素材、公益、情報通信、小売り、輸送、運輸関連株は振るわなかった。そのうち、マーケット下落の寄与度の上位5銘柄にはベトコムバンク（VCB）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ベカメックス IDC（BCM）、テクコムバンク（TCB）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）が含まれた。

中でも1.22%安だったベトコムバンクは、最も指数を押し下げた。

2.83%上昇したホアファットグループ（HPG）、ビンググループ（VIC）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ビンホームズ（VHM）といった素材、不動産、建設セクターはマーケットを下支えした。

その反面、ハノイ市場では大型株の下落にもかかわらず HNX 指数が 0.44% 高の 296.12 ポイントだった。HNX30 指数は 0.64% 安の 443.82 ポイントだった。国内勢は 3 兆 2,000 億ドン以上を買い入れ、売買高は 1 億 7,200 万株だった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き売り越し、ホーチミン市場では 8,294 億 7,000 万ドン、ハノイ市場では 132 億 5,000 万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。